

## 研究職員（選考採用）募集要領

農林水産省農林水産政策研究所では、標記研究職員の募集を行っております。

国家公務員総合職試験では適任者が得られない特別の知識、能力又は技術を必要とするポストについて、優秀な人材を採用するために行っているもので、今回の採用予定ポスト、募集条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 採用予定官職及び研究業務内容とキーワード

農林水産政策研究所主任研究官 1名

農林水産政策研究所研究員 4名

（詳細は別紙のとおり）

#### 2. 応募条件（以下の全てを満たすこと）

- ① 農学、地域政策等の農林水産業、地域政策に関連する分野の大学院博士課程修了の学歴又は同等程度の能力を有する者（主任研究官にあっては、大学卒業後の経験年数が2022（令和4）年10月1日時点で通算12年以上見込まれる者）
- ② 研究職員として採用予定ポストの研究課題を担当するために必要な知識、能力又は技術を有する者

※ 以下に該当する者は応募できません。

- ・ 国家公務員法第38条（欠格条項）の規定に該当する者

#### 3. 採用時期

令和4年10月1日、令和5年4月1日予定

#### 4. 給与等

一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）に基づき研究職俸給表を適用（級号俸は職歴等を勘案して決定）

- ① 俸給（基本給）博士課程修了者の場合
  - ・ 主任研究官 281,800円～
  - ・ 研究員 254,600円～
- ② 地域手当 俸給の20%を支給
- ③ 俸給の特別調整額 月額60,900円（主任研究官に限る）
- ④ 扶養手当 扶養親族のある者に配偶者月額6,500円、子1人につき月額10,000円等
- ⑤ 住居手当 借家等（賃貸のアパート等）に住んでいる者に月額最高28,000円
- ⑥ 通勤手当 実費相当額を支給（1箇月当たり55,000円が上限）
- ⑦ 期末手当・勤勉手当 6月及び12月に支給（昨年度実績4.30箇月／年）  
給与は毎月16日に支給

#### 5. 勤務地

農林水産政策研究所（東京都千代田区霞が関3-1-1）

#### 6. 提出書類

- ① 履歴書（市販のA4判用紙に手書きし、写真を貼付すること）

※ 博士号を取得している場合は、履歴書の資格欄等に、博士号の分野、学校名、学位番号、学位授与日を記載すること。

- ② 研究業績報告（所定の様式に従って研究課題、背景、方法、成果、成果の評価、発表論文等を記載）  
※ 研究業績報告様式は別紙のとおり
- ③ 主要な論文、著書等3点を各3部（コピー可）  
ただし、単著又は筆頭著者のものに限ります。
- ④ 応募する仕事に対する抱負（A4判1枚）
- ⑤ 事務連絡用E-mailアドレス（パソコン及び携帯電話等）

## 7. 書類提出先

郵送またはメールにて書類を提出ください。

（郵送）

〒100-0013  
東京都千代田区霞が関3-1-1  
中央合同庁舎第4号館  
農林水産省農林水産政策研究所  
庶務課人事厚生係

※ 封筒あるいは封緘した包みの表に「研究員（選考採用）応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付してください。

（メール）

農林水産省農林水産政策研究所  
庶務課人事厚生係  
メールアドレス：[seisakuken\\_syomuka@maff.go.jp](mailto:seisakuken_syomuka@maff.go.jp)

※ 件名を「研究職員（選考採用）への応募について」としてください。

## 8. 応募締切

令和4年7月29日（金）（必着・締切日厳守）

## 9. 選考方法

- ① 一次選考 書類審査（令和4年8月上旬予定）
- ② 二次選考 一次選考合格者に対してのみ面接審査（令和4年8月下旬予定）  
（二次選考の日時は、後日、一次合格者に直接お知らせします。）

## 10. 問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所  
・研究内容に関するもの  
企画広報室長 植村（うえむら）  
・事務に関するもの  
庶務課人事厚生係 清宮（きよみや）

TEL：03-6737-9000

FAX：03-6737-9600

## 11. その他

応募に関する秘密は厳守いたします。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。

## 採用予定官職及び採用理由

場所名：農林水産政策研究所

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 主任研究官  官職：農林水産技官	①農業分野における EBPM 促進のための手法及び課題に関する研究  農業分野においてもエビデンスに基づく政策立案（EBPM）という概念が浸透しつつあり、対象とする政策が各種アウトカムに与える因果関係について各種手法において推計するとともに、それらを適用するための課題について研究を行う。	令和5年10月1日 予定  公募時のキーワード： 1. EBPM 2. 政策立案 3. エビデンス 4. アウトカム
役職：農林水産政策研究所 研究員  官職：農林水産技官	②地域における環境配慮行動への住民参加及び生態系サービスの評価及び受益構造の解明に関する研究  生物多様性保全等の環境配慮行動について、地域における取組への住民参加促進の要因を農村社会学の視点から明らかにするとともに、農林水産業に関連する生態系サービスの評価及び受益構造の解明に関する研究を行う。	令和5年4月1日 予定  公募時のキーワード： 1. 環境配慮行動 2. 生態系サービス 3. 生物多様性保全 4. 農村社会学

<p>役職：農林水産政策研究所 研究員</p> <p>官職：農林水産技官</p>	<p>③有機農業の拡大に向けた課題の特定及びその解決手法に関する研究</p> <p>有機農業への新規参入、産地形成等生産側の促進要因分析とともに、有機農産物の販路拡大、消費者選好等消費側の需要分析も行い、今後の有機農業の拡大に必要な種々の課題に関する研究を行う。</p>	<p>令和5年4月1日 予定</p> <p>公募時のキーワード： 1. 有機農業 2. 産地形成 3. 販路拡大 4. 需要分析</p>
<p>役職：農林水産政策研究所 研究員</p> <p>官職：農林水産技官</p>	<p>④農業生産及び農山村地域の持続性と活性化に関する研究</p> <p>農業生産や農業集落を担う経営体について統計分析を行うとともに、その中で明らかになった特徴的な取組について、現地調査等を通じて農山村地域の持続性と活性化に係る実証的な調査・分析を行う。</p>	<p>令和5年4月1日 予定</p> <p>公募時のキーワード： 1. 農業生産 2. 農山村地域 3. 農業集落 4. 統計分析</p>
<p>役職：農林水産政策研究所 研究員</p> <p>官職：農林水産技官</p>	<p>④食料の安定的な供給体制の構築に資する消費者行動に関する研究</p> <p>ポスト新型コロナウイルス時代におけるフードシステムの方向性など消費者ニーズを的確に把握した定量的研究とともに、食料の安定的な供給体制の構築に資する消費者行動に関する研究を行う。</p>	<p>令和5年4月1日 予定</p> <p>公募時のキーワード： 1. ポストコロナ 2. フードシステム 3. 食料の安定供給 4. 消費者行動</p>

# 研究業績報告

(氏名) ○○ ○○ ( - )

研究実施機関及び期間	研究概要	発表の時期及び方法	共同研究者